version-2016/07/09

「さらしな」スーパーブランド地名への歴史

日本の美意識の核心は清らかさ　その清らかさを表現してきたのが白
白にこめられた清らかさを最も取り込んでいる地名がさらしな
さらしなには清らかさそのものの景観があり、月の都の称号も
名実ともに清く白く　だからさらしなはスーパーブランド地名　日本の美の核心があるさらしな

平成	明治	江戸	戦国	南北朝	鎌倉	平安	奈良					飛鳥							
		芭蕉	秀吉	宗良親王	後鳥羽上皇 九条良経（よしつね）	桓武～		称徳（聖武の娘） 孝謙	聖武	元正（元明の娘）	元明（文武の母）	文武	持統（女）（うののさらら） （鸕野讃良）	天武	天智	舒明（万葉二番歌＝国見歌）	推古（初女帝）	雄略（大長谷命、万葉一番歌）	卑弥呼	天皇
1988～		1688		1336～92	1192～	794～1192	700～800年代	749～	724～				690-697	673～686	662	629-641	592-628	5c	3c	在位
千曲市誕生0503 更級郡消滅0508 仏オペラ上演 さらしなR14	更級村誕生1889	更科紀行の旅 虎屋の更科・新更科 追分の分去れ碑 さらしなそば 京都御所「更科里」		南朝、吉野山を拠点	源平の争乱後	平安京	坂上田村麿・征夷大将軍		飢饉		平城京710			壬申の乱672 野離宮 駅路建設 飛鳥浄御原宮 信濃複都計画	乙巳の変645 白村江の敗戦663	**善光寺創建642**	**仏教伝来552**	白彦皇子と黒彦皇子殺害		出来事
さらしなの里友の会 更級人「風月の会」 「さらしな歩き」 （川西振興連絡協議会） 「地名遺産さらしな」		姨捨の新田開発 余白の美意識			東大寺再建 新古今和歌集 **さらしな再発見**	竹取物語 古今和歌集（905） 大和物語（10世紀半ば） 更級日記（11世紀半ば） 雪月花の美意識	冠着山肩部を通過していた東山道	万葉集 続日本紀797	東大寺建立 全国に国分寺建立	日本書記720	古事記712	大宝律令701	伊勢の式年遷宮 万世一系（天皇は神） 天照大神・月→太陽 律令制度（藤原不比等） 万葉集の編纂始まる？	国号・倭→日本 国史編纂の詔勅 東国経営（東山道、馬・ 軍事拠点の信濃） 道教（神仙思想）修験道	大化の改新（藤原鎌足） 科野国に更級郡誕生？		スメラミコト（天皇＝神の清らかな言葉を聞く者）			実績
		住民アンケートで千曲市＝193346票、更科市＝17580票 LADY SARASHINA 『科野 さらしなの里 千曲』（千曲市観光振興計画）			★さらしなの月みてだにも我はただ 都の秋の空ぞ恋しき ★この里に旅寝しつべしさらしなや 月を都の同じ空とて	わがこころ慰めかねつさらしなや姨捨山にてる月をみて（古今和歌集） 月も井でで闇にくれたる姨捨になにとて今宵訪ねきつらむ（更級日記）	★さらしなの山の高嶺に月さえて ふもとの雪は千里にぞしく ★雪白きよもの山辺をけさ見れば 春のみ吉野秋のさらしな ★み吉野は山も霞みて白雪の ふりにし里に春は来にけり（新古今・巻頭） ★さらしは心の中の里なれば 月見るごとに身を宿すかな（藤原信実）	「さらしな」の発見ディスカバーサラシナ 「さらしなの里・姨捨山」の誕生 あやしくも慰めがたき心かなおばすて山の月も見なくに（880年ごろ、小野小町）	★ひさかたの天光る月の隠りなば 何になぞへて妹を偲ばむ（2463） ★ひさかたの天照る月は見つれども 吾が思ふ妹にあはぬころかも（3650） ★「さら・しな」は再生イメージ音の集合体 ★建部大垣、親孝行で税金免除（768年）	もしわが寺興復せば天下興復し、わが寺衰弊せば天下衰弊す			屋代国府木簡に「更科郡司」	里中満智子さん著「天上の虹」主人公 ★春過ぎて夏来たるらし白たへの 衣ほしたり天の香具山（万葉集、小倉百人一首） 飛鳥浄御原令＝明、浄、正、直の位階名	中央集権・文化国家の礎 ★よき人のよしとよく見てよしと言ひし 吉野よく見よよき人よく見つ（万葉集27） 吉野山＝天皇親政の聖地・原点	天皇中心の中央集権国家へスタート 「信濃国」の表記誕生？	大阪・難波に捨てられていた百済仏を本田義光が信濃に運搬 旧更級郡の長谷寺、寺伝によると637年開山、開祖は白助		さらしなの里の白助と黒彦	信濃国の起源の科野氏（百済系渡来人？） 森将軍塚古墳（4世紀後半）	特記事項
		月のみか露霜しぐれ雪までに さらしさらせるさらしなの里（佐良志奈神社）	★佛や姨ひとりなく月の友 「鏡台山」の発見（姨捨十三景） ★さらしな右み吉野は左にて月と花とを追分の宿 ★姨捨の山ぞしぐれる風みえて よそさらしなの里のたかむら	●さらしなや雄島の月もよそならん ただ伏見江の秋のゆうぐれ ★曇るとも照るとも同じ秋の夜の 其の名は四方にさらしなの月（伊達政宗）・																